

中小企業景況調査報告書

2020年7～9月期実績
2020年10～12月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

- ①調査対象時期：2020年7～9月期の実績(9月見込)2020年10～12月期見通し
②調査期間：2020年8月21日～9月1日 ※調査時点は2020年9月1日

(2) 調査方法

- ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

- ①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、大樹町、広尾町
②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、釧路町、別海町
③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	49	96.1%	小売業	90	84	93.3%
建設業	48	47	97.9%	サービス業	111	106	95.5%
				合計	300	286	95.3%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+$ 30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今 期 比	
	今期	来期見込	R1. 7-9	R1. 10-12	R2. 1-3	R2. 4-6	今期	来期見込
製造業	▲ 41.7	▲ 37.7	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 32.6	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 16.3
建設業	▲ 29.8	▲ 28.9	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 24.5
小売業	▲ 71.1	▲ 58.2	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 46.6	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 44.4
サービス業	▲ 53.9	▲ 42.2	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 37.8	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 25.0

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R1. 10-12	R2. 1-3	R2. 4-6	今期	来期見込
業況	好転した	12.5	6.7	12.8	11.6	2.2	13.3	18.6
	不変	33.3	48.9	61.7	44.2	43.5	48.9	46.5
	悪化した	54.2	44.4	25.5	44.2	54.3	37.8	34.9
	D・I	▲ 41.7	▲ 37.7	▲ 12.7	▲ 32.6	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 16.3
売上(加工)額	増加した	16.3	8.3	20.0	15.2	18.8	29.2	
	不変	22.4	33.3	44.0	21.7	27.1	27.1	
	減少した	61.3	58.4	36.0	63.1	54.1	43.7	
	D・I	▲ 45.0	▲ 50.1	▲ 16.0	▲ 47.9	▲ 35.3	▲ 14.5	
資金繰り	好転した	6.3	2.1	6.1	6.8	0.0	4.3	
	不変	49.9	57.5	87.8	68.2	52.2	63.1	
	悪化した	43.8	40.4	6.1	25.0	47.8	32.6	
	D・I	▲ 37.5	▲ 38.3	0.0	▲ 18.2	▲ 47.8	▲ 28.3	
原材料仕入単価	上昇した	25.0	21.3					
	不変	70.8	74.4					
	低下した	4.2	4.3					
	D・I	20.8	17.0					
採算(経常利益)	好転した	12.5	2.1					
	不変	33.3	56.2					
	悪化した	54.2	41.7					
	D・I	▲ 41.7	▲ 39.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

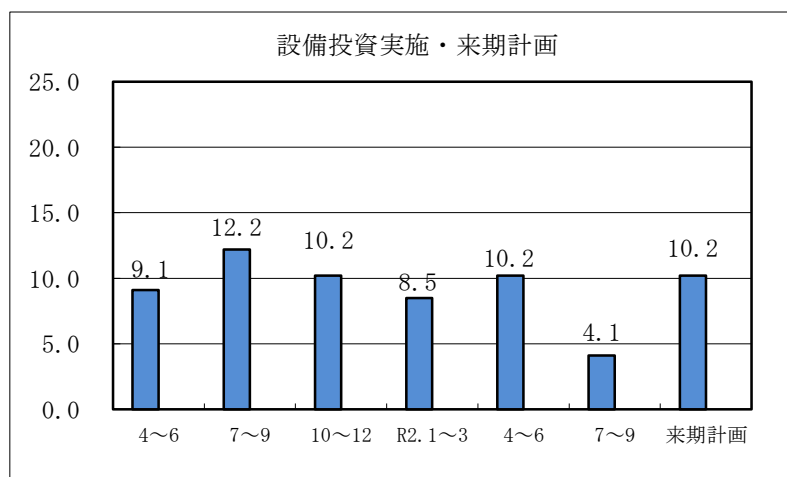
【今期実施内容】

回答49事業所の内、2事業所(4.1%)が実施。●生産設備、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

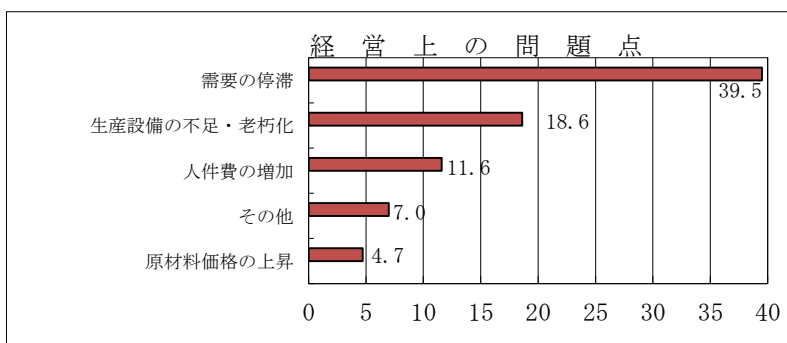
回答49事業所の内、来期に5事業所(10.2%)が計画。

●土地、生産設備、付帯施設、OA機器、福利厚生施設、その他=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様「需要の停滞」で前回より13.4ポイント増加した。2位は前回4位の「生産設備の不足・老朽化」で5.6ポイントの増加。3位は前回番外の「人件費の増加」で9.4ポイント増加した。4位は前回2位の「その他」で、内容は新型コロナウイルスの影響によるものだった。5位は前回番外の「原材料価格の上昇」であった。また、前回3位の「従業員の確保難」と5位「製品ニーズの変化」はともに番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R1. 10-12	R2. 1-3	R2. 4-6	今期	来期見込
業況	好転した	6.4	2.2	13.3	12.2	6.7	10.6	11.1
	不変	57.4	66.7	71.1	56.1	73.3	66.0	53.3
	悪化した	36.2	31.1	15.6	31.7	20.0	23.4	35.6
	D・I	▲ 29.8	▲ 28.9	▲ 2.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 24.5
完成工事（請負工事）額	増加した	10.6	10.6	18.2	11.9	31.1	36.2	
	不変	34.0	38.3	45.4	47.6	31.1	34.0	
	減少した	55.4	51.1	36.4	40.5	37.8	29.8	
	D・I	▲ 44.8	▲ 40.5	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 6.7	6.4	
資金繰り	好転した	13.0	8.7	4.8	7.1	6.8	13.0	
	不変	71.8	71.7	85.7	85.8	72.7	74.0	
	悪化した	15.2	19.6	9.5	7.1	20.5	13.0	
	D・I	▲ 2.2	▲ 10.9	▲ 4.7	0.0	▲ 13.7	0.0	
材 料 仕入単価	上昇した	32.6	26.1					
	不変	67.4	73.9					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	32.6	26.1					
採算（経常利益）	好転した	8.5	6.4					
	不変	63.8	63.8					
	悪化した	27.7	29.8					
	D・I	▲ 19.2	▲ 23.4					

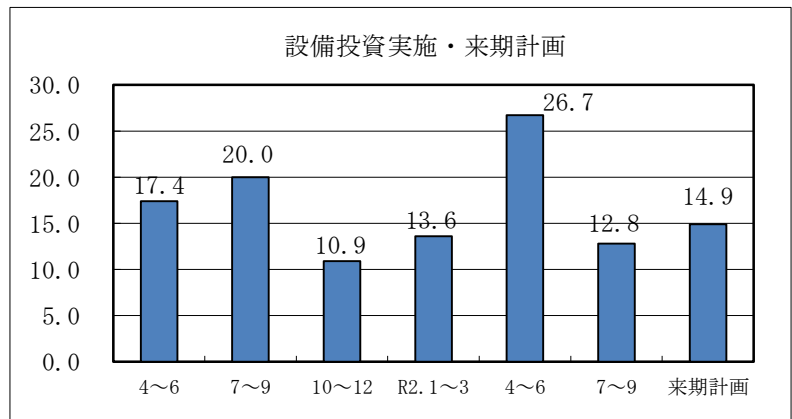
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答47事業所の内、6事業所（12.8%）が実施。●建物、機械設備=各2事業所、●車両運搬具、その他=各1事業所

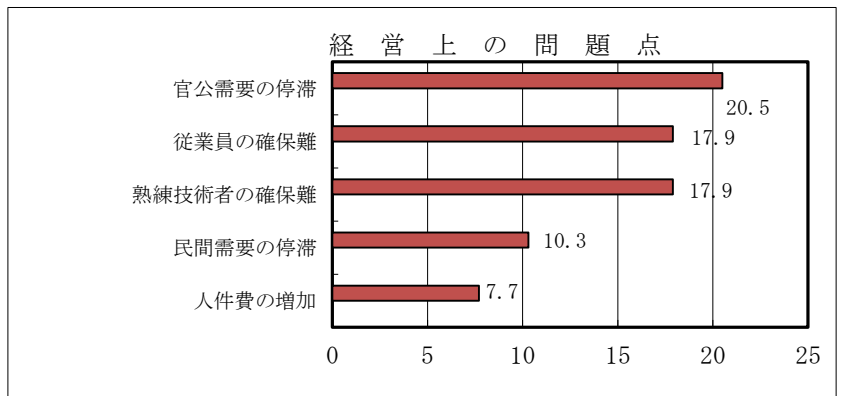
【来期計画内容】

回答47事業所の内、来期は7事業所（14.9%）が計画。●車両・運搬具=4事業所、●建物=3事業所、●土地、建設機械=各2事業所、●付帯施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「官公需要の停滞」だったが前回より8.4ポイント減少した。2位は「従業員の確保難」と前回5位の「熟練技術者の確保難」で、「従業員の確保難」は0.5ポイントの減少、「熟練技術者の確保難」は10ポイント増加した。4位は前回3位の「民間需要の停滞」で0.2ポイントの減少。5位は前回3位の「人件費の増加」で前回より2.8ポイントの減少であった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R1. 10-12	R2. 1-3	R2. 4-6	今期	来期見込
業 況	好転した	1.2	1.3	6.9	6.7	3.8	0.0	6.3
	不 変	26.5	39.2	50.0	40.0	36.3	45.9	43.0
	悪化した	72.3	59.5	43.1	53.3	59.9	54.1	50.7
	D・I	▲ 71.1	▲ 58.2	▲ 36.2	▲ 46.6	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 44.4
売上額	増加した	8.3	1.2	24.7	13.3	10.8	21.7	
	不 変	19.0	33.7	30.9	26.7	34.9	34.9	
	減少した	72.7	65.1	44.4	60.0	54.3	43.4	
	D・I	▲ 64.4	▲ 63.9	▲ 19.7	▲ 46.7	▲ 43.5	▲ 21.7	
資金繰り	好転した	1.2	0.0	3.8	2.7	0.0	0.0	
	不 変	54.2	57.8	69.3	56.8	59.8	68.3	
	悪化した	44.6	42.2	26.9	40.5	40.2	31.7	
	D・I	▲ 43.4	▲ 42.2	▲ 23.1	▲ 37.8	▲ 40.2	▲ 31.7	
商 品 仕入単価	上昇した	22.6	10.8					
	不 変	67.9	82.0					
	低下した	9.5	7.2					
	D・I	13.1	3.6					
採算(経 常利益)	好転した	1.2	1.2					
	不 変	36.1	43.4					
	悪化した	62.7	55.4					
	D・I	▲ 61.5	▲ 54.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

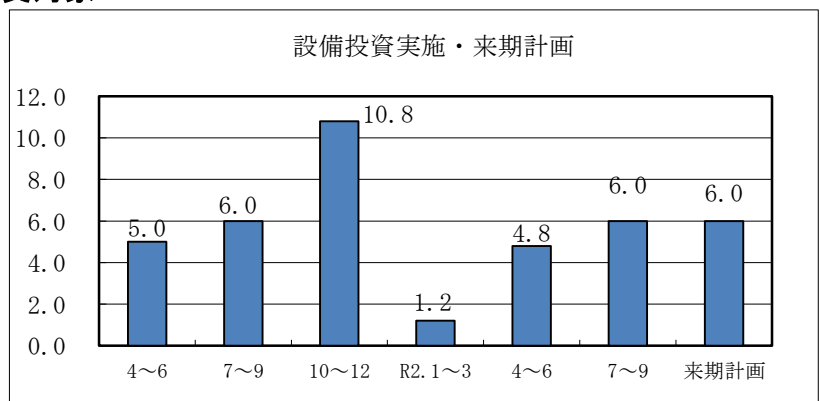
回答84事業所の内、5事業所(6.0%)が計画。

●販売設備=3事業所、●車両・運搬具=2事業所

【来期計画内容】

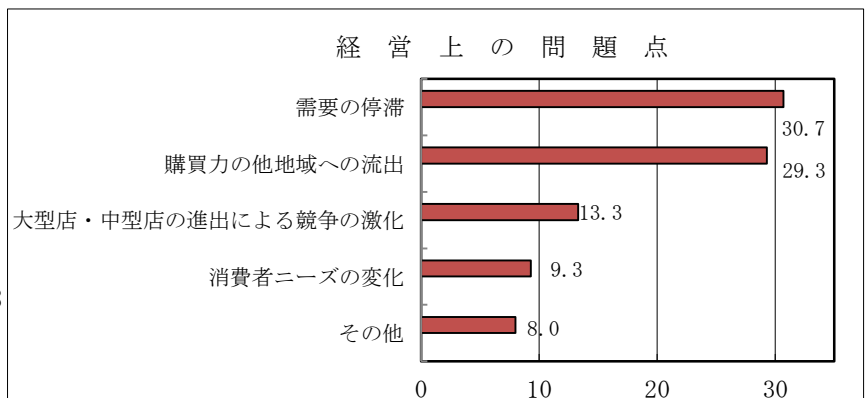
回答84事業所の内、来期は5事業所(6.0%)が計画。

●販売設備=2事業所、●車両・運搬具、付帯施設、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回も1位は「需要の停滞」だったが前回から0.8ポイント減少した。2位も前回と同じく「購買力の他地域への流出」で4.6ポイント増加した。3位が前回5位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」で3.7ポイント増加。4位は前回同様「消費者ニーズの変化」であったが、ポイントは0.3減少した。5位は前回3位の「その他」で前回より9.8ポイント減少した。内容は新型コロナウイルスの影響であった。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R1. 10-12	R2. 1-3	R2. 4-6	今期	来期見込
業況	好転した	6.7	4.9	7.5	4.4	0.0	15.0	11.0
	不変	32.7	48.0	61.3	53.4	30.0	39.0	53.0
	悪化した	60.6	47.1	31.2	42.2	70.0	46.0	36.0
	D・I	▲ 53.9	▲ 42.2	▲ 23.7	▲ 37.8	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 25.0
売上(収入)額	増加した	8.5	9.4	13.0	10.3	3.7	26.4	
	不変	21.7	35.8	42.0	36.1	19.6	30.2	
	減少した	69.8	54.8	45.0	53.6	76.7	43.4	
	D・I	▲ 61.3	▲ 45.4	▲ 32.0	▲ 43.3	▲ 73.0	▲ 17.0	
資金繰り	好転した	3.9	1.0	5.1	3.1	0.0	7.8	
	不変	50.5	63.4	75.5	68.8	48.1	62.1	
	悪化した	45.6	35.6	19.4	28.1	51.9	30.1	
	D・I	▲ 41.7	▲ 34.6	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 51.9	▲ 22.3	
仕入単価(材料等)	上昇した	16.3	8.7					
	不変	77.9	83.6					
	低下した	5.8	7.7					
	D・I	10.5	1.0					
採算(経常利益)	好転した	5.8	5.8					
	不変	40.4	45.2					
	悪化した	53.8	49.0					
	D・I	▲ 48.0	▲ 43.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

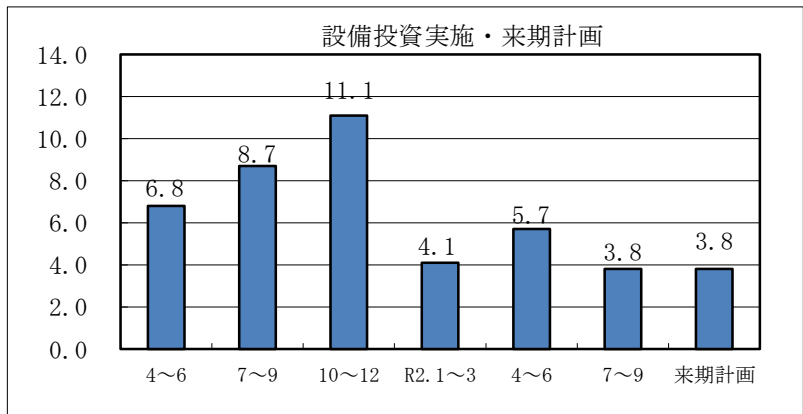
回答106事業所の内、4事業所(3.8%)が実施。

●その他=2事業所、●サービス、車両・運搬具=各1事業所

【来期計画内容】

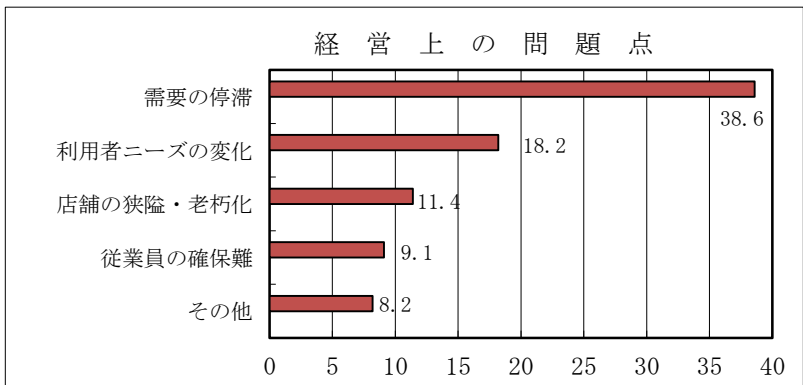
回答106事業所の内、4事業所(3.8%)が計画。

●サービス、車両・運搬具、付帯施設、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回と同じく「需要の停滞」で1.2ポイント減少した。2位は前回3位の「利用者ニーズの変化」で5.7ポイント増加。3位は「店舗施設の狭隘・老朽化」で前回より2.2ポイントの増加した。4位は前回番外の「従業員の確保難」で5ポイントの増加であった。5位は前回2位の「その他」で前回から10.2ポイント減少した。内容は新型コロナウイルスの影響であった。前回5位の「材料等仕入単価の上昇」は4.8ポイント減少し番外となった。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

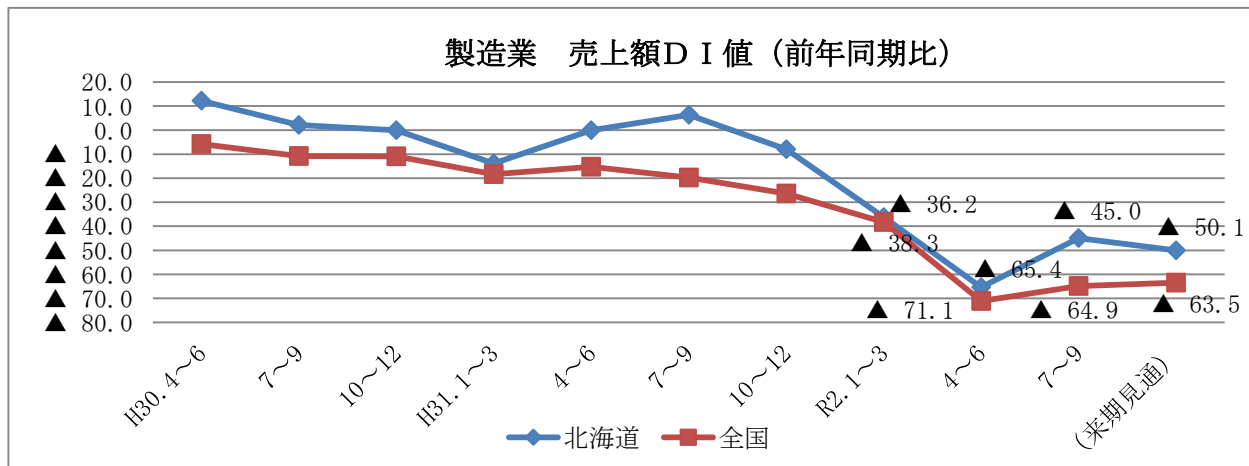
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

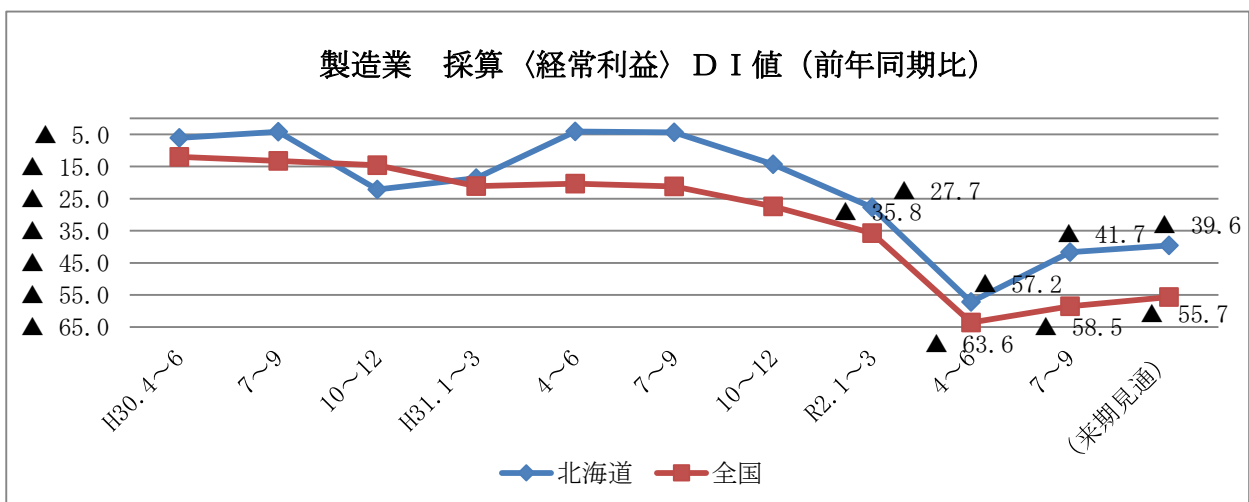
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

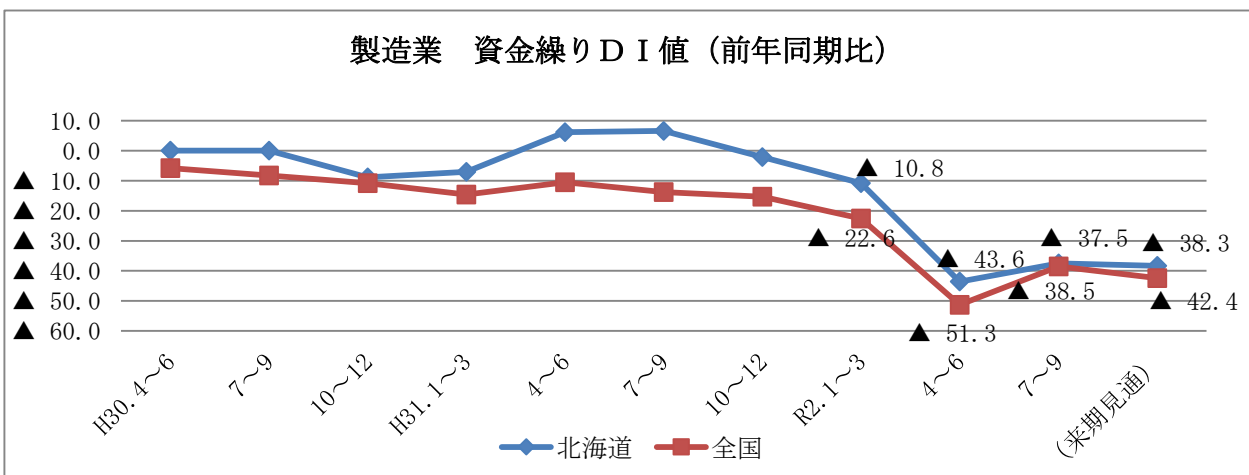
売上額



採算



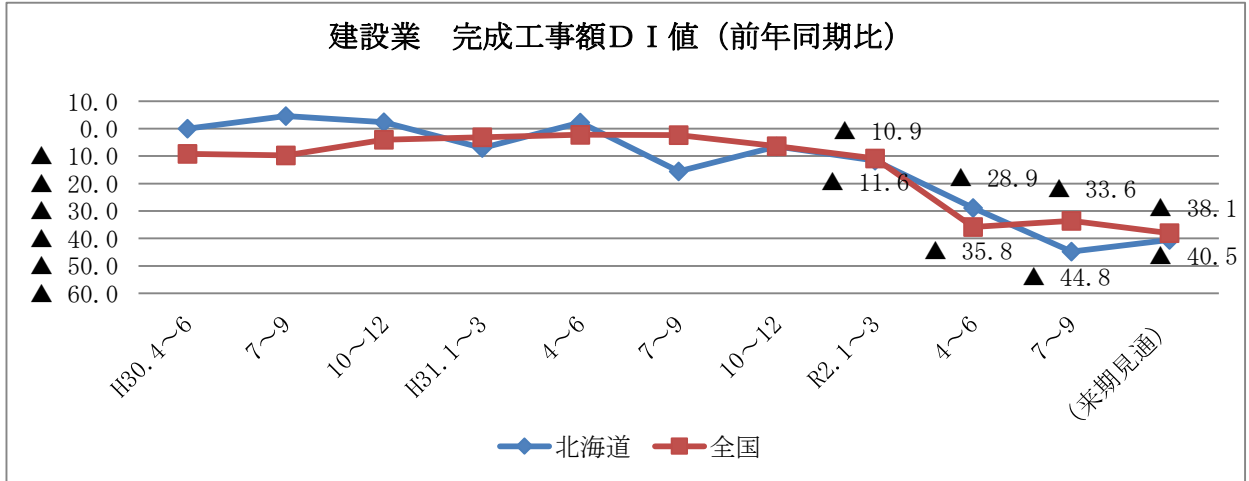
資金繰り



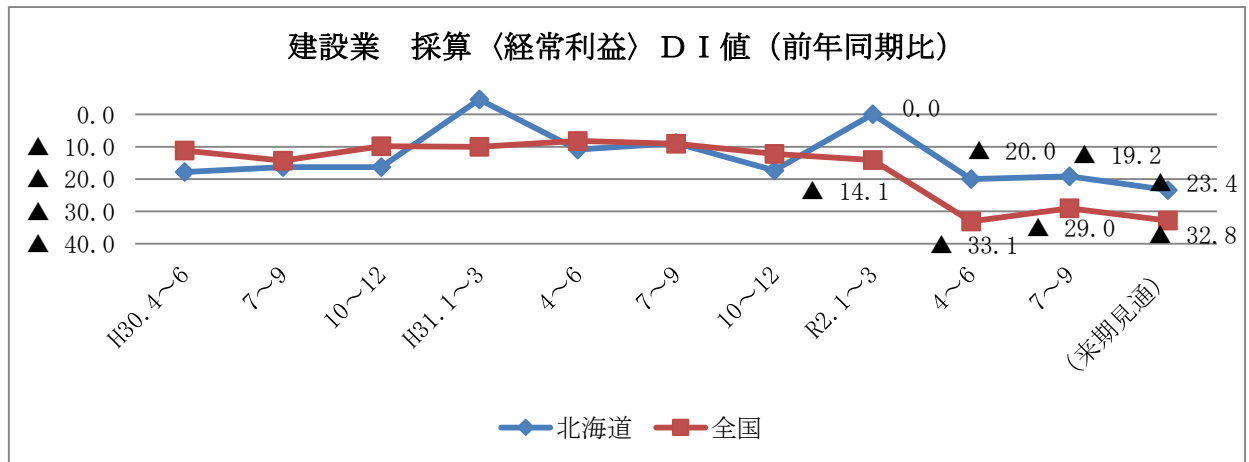
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

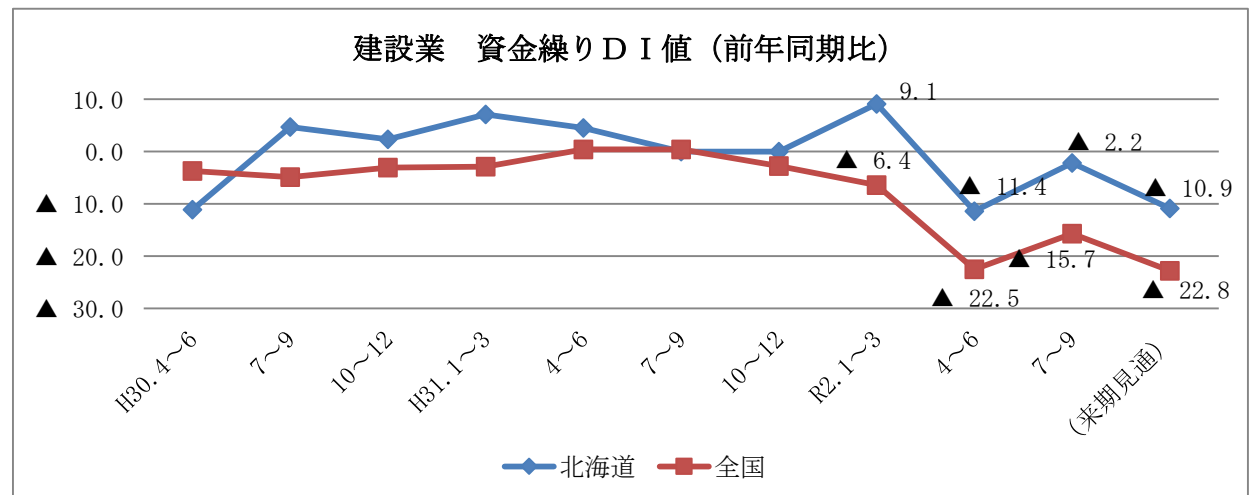
完成工事額



採算



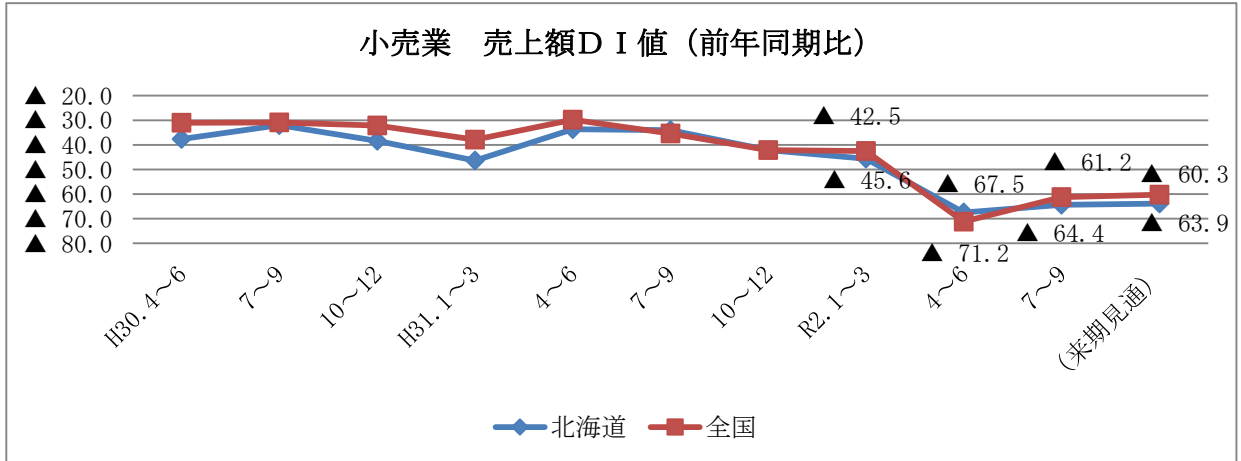
資金繰り



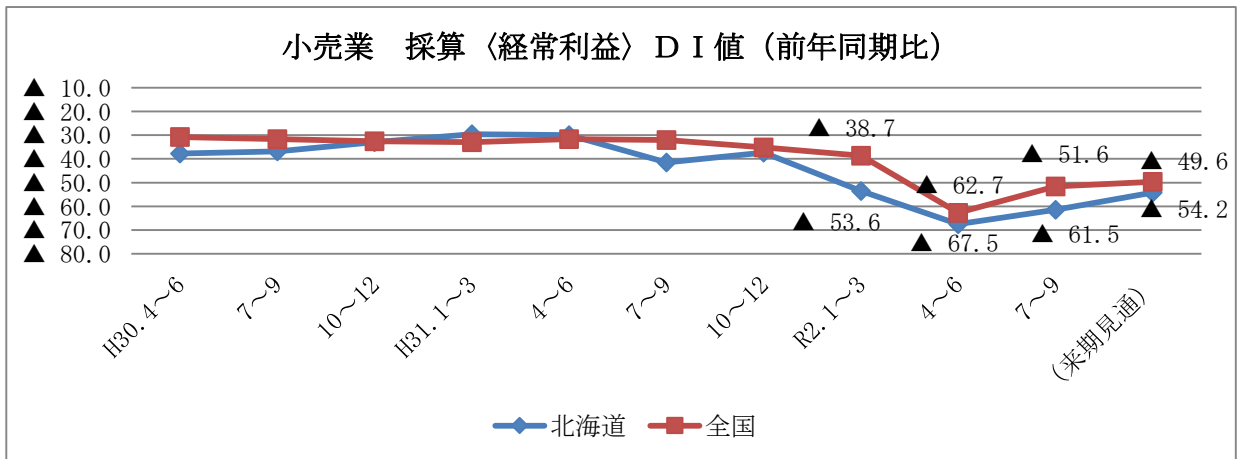
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

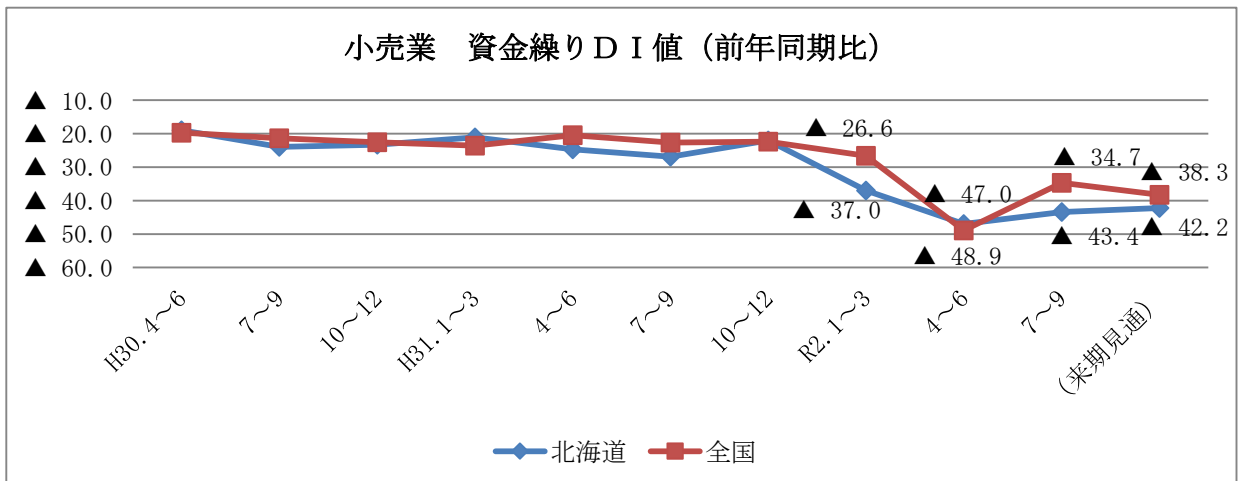
売上額



採算



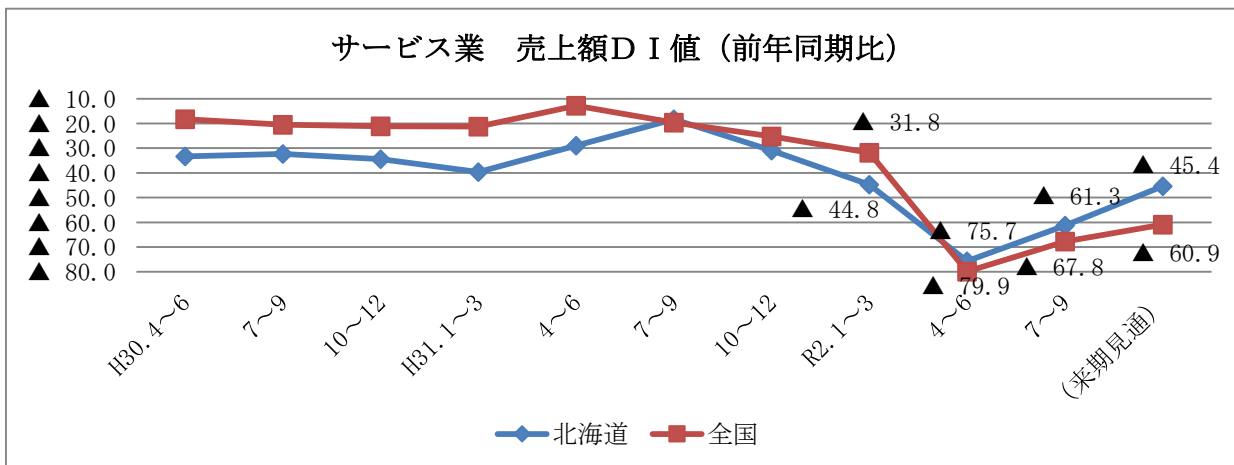
資金繰り



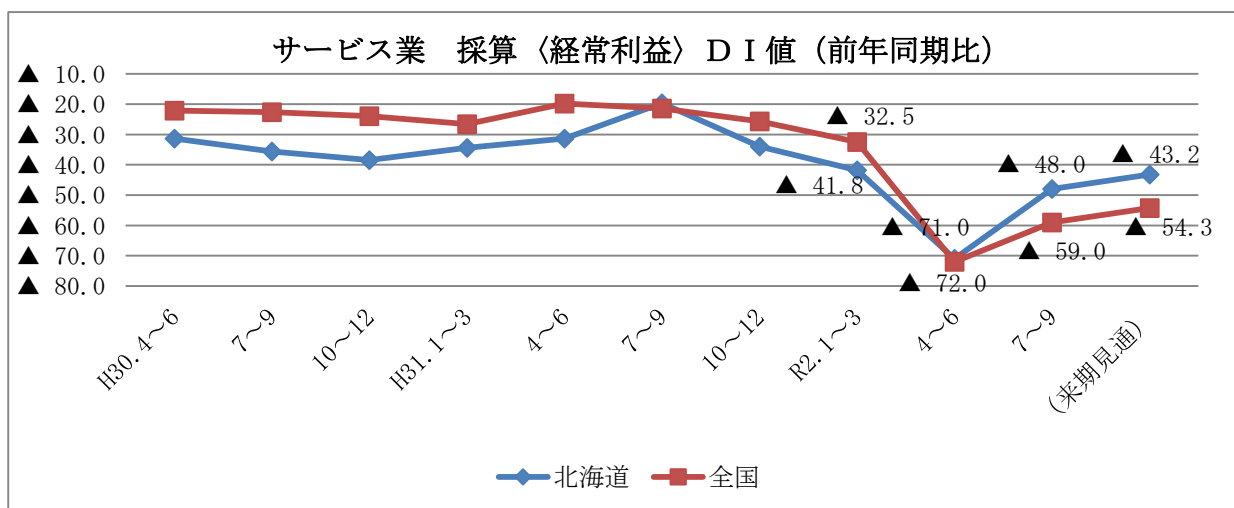
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

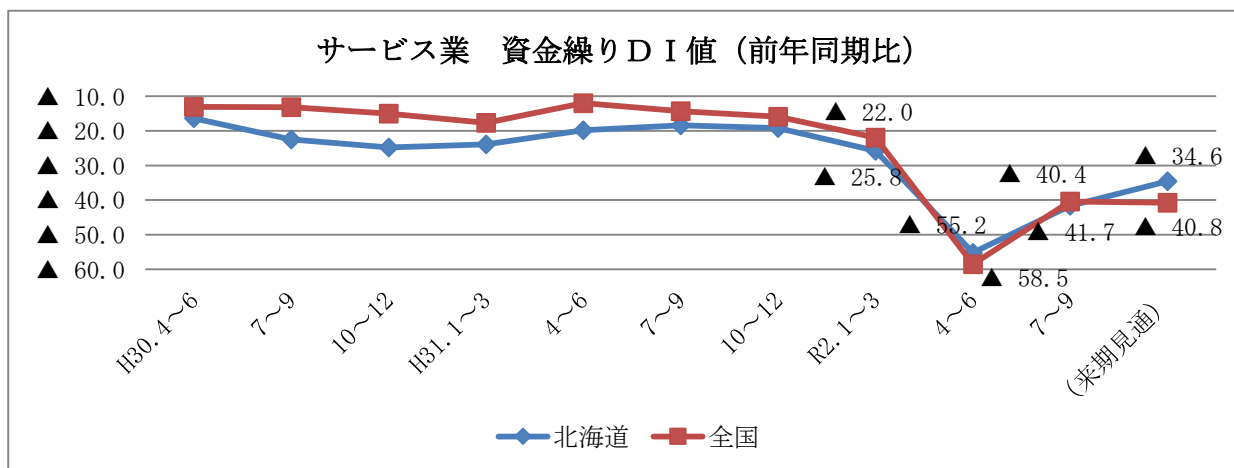
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●景気は良いものの社員を増やしたことによる人件費及び社会保険料の支払いが経費を圧迫しています。仕事は沢山あるけれど値段は上げられないし人がいないと出来ないしで大変です。</p> <p>●コロナウイルスの影響で、取引先の観光地の発注がほぼゼロの状態が続き、当社の売上も激減した。今は在庫をすぐに製品として売り出せるよう加工作業をしながらしのいでいる状態。納入できる場所が欲しい所。</p> <p>●コロナの影響のせいばかりにはできないが、実際のところ生活スタイルが変化してきている。顧客のニーズをうまくつかないと置いていかれる。今までの感覚のままではダメだと思う。</p> <p>●コロナの影響によりイベントが無くなり、売り先が確保できなくなった。長期化することが予想され、非常に苦しい状況。</p> <p>●今期はコロナ禍の影響は受けなかったが来期はわからない。見通しがたたないでいる。設備投資にも二の足を踏む状態です。</p> <p>●コロナの影響で仕事が回ってこない。</p> <p>●コロナ感染防止策として店内飲食を休止しているため、売上減少はやむを得ないと思っています。バランスが難しいです。</p> <p>●コロナウイルスの影響による7・8月の売上減少。</p> <p>●コロナ禍により予測出来なかったことが起き、業況も厳しくなった。</p> <p>●コロナで受注減少。</p> <p>●現時点では物件受注が好調だが、来期の見通しは立っていない。感染症による減少している物が今後どうなるかわからない。</p> <p>●公共事業が少なくなってきており、仕事の受注が今後影響していくるかもしれません。</p> <p>●我が社が取り扱うブリなどが増えたが、刺網の漁が低迷している。今後の取扱いの漁に不安である。</p>
建設業	<p>●業況判断を悪化した理由は、設備投資の融資が制限されているため。特に、観光・自動車等の今期の業況が不確定な分野への設備投資は、金融機関等が引き締めている節があり、事業案件の遅延や延期の一因と感じている。</p> <p>●来年度の仕事が、更に減るのではないかと不安を感じる。</p> <p>●日本経済がコロナの影響にて先行が不透明なのが、建設業界にどのような影響を及ぼすか懸念される次第です。</p> <p>●今年度の受注は順調であります。来年度の公共工事の予算が不安です。</p> <p>●コロナウイルスの猛威も収まることもない中でも相変わらず仕事の引き合いも多いが、来年度の工事予定減少状況を鑑みると大変ではあるが、風林火山の如くあらゆる事態に対応できる事を目標に本末転倒とならぬようにする。</p> <p>●公共事業を含め仕事が減っている。従業員にも休んでもらうことが多い。</p> <p>●多方面からの同業者の進出による損失が多い。</p> <p>●4月から6月期でもかなりのマイナス業況になったが、その後の停滞感は引き続き続いている。人手不足も相変わらずで、官公需の発注も減少気味で一層停滞感が強まっている。心理的不安も拍車をかけている現状である。</p>

小売業

●前年は消費税増税の影響で9月のかけこみ、10月の反動と例年にならぬ動きがあった為、単純な比較は出来ない。今年はさらにコロナの影響もあり、ますます予測は難しい。●コロナの影響により、消費動向の変化、イベント等の自粛が売上の高い時期に直撃している。インバウンド、滞在型の需要が激減。●客の動きは先月と変わらず、低迷している。●コロナのせいばかりでなく、高齢化社会の典型です。しばらく見えないお得意様は、サ高住への入居になっている状態ですから、その事を耳にすると辛いです。●コロナの影響が大で、売上・客数が減少しています。●新型コロナウイルスの影響で、イベント中止により氷の売上が激減。違う販路を考えないといけない。●新型コロナウイルスの影響でホテルからの酒仕入が無くなり売上減少、現在も受注がこない為苦戦。●新型コロナにより各団体のイベントが中止され、飲食店からの発注も減少。昨年は選挙やふるさと納税返礼品として酒の売上があったものの、今年は売上が低迷。●コロナウイルスによる5月売上に影響あり。●コロナウイルスの影響による売上減少。●売上が減っても経費や人件費はそのままなので経営困難になってきている。●新型コロナウイルス感染予防の影響により各種イベントの中止により売上減少が大きく、それに伴う会合、関連する事業所の縮小等すべてにおいて状況が悪化して行くこと。●コロナの有効な薬、ワクチンの早期分配が急がれる。デパート等の衣料部門も30%以上売上が落ちている。●人口減も著しいため、年々販売数は減少している。ただ、コロナの影響が大きかった前期と比べると徐々に回復してきている。●前期と比較すると、コロナの影響も少なくなっている。この夏は暑かったため、エアコンが例年より売れた。そのため、前年同期程まで回復している。●コロナのせいで、客足が減少し、悪化している。●取扱商品の需要停滞に加えて、消費者ニーズの変化に対応することが困難なため。●新型コロナウイルス感染拡大対策にかかるコストと手間が増加し、仕事量が増えて大変です。●6月・7月天候不順により、夏物衣料が良くなかった。コロナ感染症の影響による観光客の減少と全国百貨店催事の中止による売上減が非常に大きい。EC参入に向け準備をしているが競争激化している。

サービス業

●来店サイクルが長くなり、売上が上がりにくい。●コロナウイルスの影響による需要の停滞による売上の低下が一番の原因です。●コロナの割に客は多いのだが、仕事のできる母が介護になったため、客をさばけなくなり経営が悪化しています。●引き続きコロナの影響はほぼ無いものの、これだけコロナ拡大が長引くと来年の事は本当にわからないなと思っています。●コロナの新規感染者が連日報道される中、GoToキャンペーンが関わる受け入れ施設に説明不足の中、見切り発車された。政治的な都合ばかりで、国民の安全・安心が置きざりにされていると感じます。●この先5年後、今のお客様が何人減るのか考える様になってます。高齢や引越等。●コロナ！●コロナにより、前期よりも需要が落ちている。今期はまだやって行ったが、来期はもっと落ちると思う。飲食だけでなく、全般にコロナの影響がでると思う。●コロナの影響があったが8月に入り戻りも出てくれてひとまず安心しているが、コロナ期間でパーマやカラーを辞める人が増え、客単価が減った。●持続化給付金により資金繰りは好転したものの、日々の取引では未だに需要が見込めない。●コロナウイルスの影響による売上減少。●コロナウイルスの影響が少しずつ出ており、売上が減少してきている気がする。●地域住民の高齢化等で地域外へ転出、高齢者施設等への入所で年々客数が減少している。●業況的には売上増加傾向にあるため問題ないが、従業員一人あたりの負荷が高く、人員不足を解消しない限り作業効率の悪い仕事が続く、採算性も低くなる。従業員の確保が急務の状態が数年続いている。●コロナの影響で人の流れが悪くなり、来店客数も減少している。このままコロナが続くとどうなるか不安です。●新型コロナウイルスの影響を受け、売上は下がっているが「選択と集中」により粗利が多い整備と中古車販売に力を入れている。単価アップにも力を入れているが売上が下がっているが、営業利益をプラスにあげている。●お客様の高齢化により、髪を染めたりするお客様が減っている。●前期と比べ、客足は例年ほどに回復しているが、未だコロナの影響は残っている。法要等の予約が一切ない。●町の人口減少に伴い、来店率の減少と高齢化により悪化している。●コロナの影響により、イベントや外出の自粛等の原因によりクリーニングの利用頻度が下がったため。●売上のピークである8月がこの程度。今後不安でしかない。●コロナの影響でお客様の来店回数が少なくなっている。1ヶ月10%位の落込みが毎月の様に見られる。●客も経営者共に高齢になって来てることで、先々が不安！若者の利用者ニーズがかなり変化してる。●コロナ対策で経費がかかっているのに、売上は思うように上がらず、特にカラオケ店については現時点で営業したのは良いが、人件費が出ない。